

事業所名

放課後等デイサービスじゆうじかん

じゆうじかん支援プログラム

作成日

令和7年

3月

25日

法人（事業所）理念		私たちは、子どもたちの心と体の成長を見守りながら、子どもたち一人一人の個性を尊重しつつ、社会のルールなどを守ることでできる子どもを育て社会に送ることを目指しています。						
支援方針		私たちは、子どもたちが社会に出た時に必要になってくるスキルを養うことができるように、部屋での活動だけでなく、できるだけ公共施設に連れて行き、社会性を学ぶことができるように支援しています。身辺自立の確立を目指し、個々で目標をしっかりと立てていき、それに沿って環境作りをしています。また将来必要になってくる生活能力が向上するように様々なことに挑戦させていき、それを見守り記録に取って、どんな支援が必要であるか常に検証していきます。						
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	子どもたちが健やかに成長することができるように、睡眠、食事、排泄に関して保護者と密に連絡をとり、できるだけ体を動かして健康に過ごすことができるように支援します。おやつは事業所で手作りの物を準備し、偏食を克服または軽減できるように考え、子どもたちに提供しています。お昼ご飯を子どもたちの目の前で作り、おやつ作りを一緒に行うなど、食育にも力を入れています。また発作のある子どもに対して、職員全員で常に気を配り活動ができるように支援しています。						
	運動・感覚	子どもたちの運動能力と身体能力を職員全員で把握し、公園で遊ぶ時など危険がないようにします。縄跳び・トランポリン・バランスボールなどのアイテムを使いながら、身体能力が伸びるように促し、記録にとっていき検証していきます。楽しみながら活動できるように、職員も一緒に体を動かし、時には集団遊びを入れて、友達と楽しむ経験もしています。公園では遊具で遊ぶだけでなく、歩行も取り入れて体力作りもしています。						
	認知・行動	子どもたちの発達を促進するため、工作を毎月取り入れ、ねらいを定めて発達段階を確認し記録しています。また子どもたちの集中力を養い能力を高めるため、50種類の自立課題から子どもに合わせて提供していき、将来仕事に就く時にどんな作業が得意であるか検証し記録しています。集団で外出する時は、外出する前にルールを確認して守るように促していき、社会的スキルが身に着くように支援しています。						
	言語 コミュニケーション	朝の会、帰りの会の際に名前を呼ぶ、日にちや曜日の確認をするなどして、日常の語彙が出るように促しています。またしりとり遊びや連想ゲームなどの集団遊びの中で言葉を発信することを経験させ語彙力が高まるように支援しています。また困った時や助けて欲しい時のコミュニケーションの取り方を教えていき、絵カードやヘルプマークの使い方も伝えていきます。						
	人間関係 社会性	子どもたちが、安心して事業所で過ごすことができるように、職員と良好な関係を築き、友達を意識して円滑なコミュニケーションを取ることができる環境作りをしています。みんなで協力して行う活動を取り入れ、協調性が養うことができるような企画を考えます。またルールやきまりをみんなで確認できる機会を設けていき、社会的マナーが守れるように促していきます。						
家族支援		保護者が抱える不安や悩みに寄り添い、帰りの送迎時に保護者と職員が話ができるようにしています。また担当者会議でより細かい情報を共有し、保護者と連携が取れるようにしています。		移行支援		卒業後の行き場所を保護者と共に考え、施設訪問などしています。また進路を見据えて、適応できる力をつけることができるように目標を定め、支援していきます。		
地域支援・地域連携		常に近所の公共施設に出向き、挨拶などしっかりとるように支援しています。また近所に事業所でできた野菜を持っていくなど、子どもたちが近所の方と触れ合う機会を設けています。		職員の質の向上		職員会は毎日設け、常に職員全体ですべての子どもの把握ができるようにしています。研修へ出向き、職員会で報告する機会を作り、支援スキルの向上を図っています。		
主な行事等		子どもたちが季節を感じるができるように、年間を通して様々なイベントを行っています。春には ひな祭り会 花見 夏には プール 夏祭り 秋には ハロウィンパーティー 冬には クリスマス会 書初め 節分会 など盛りだくさんの事を企画しています。土曜日や長期休みの日には、豊橋だけでなく田原、浜松、蒲郡、新城まで出向き、色んな経験ができるように考えています。						